

居場所づくり活動

楽しさが健康につながる活動
ガーデン de ひがしやま



「ガーデンdeひがしやま」は、野菜づくりを通して、高齢者の生きがいと健康づくりを進めることを目的に実施しています。

5年前に「やすらぎ・ふれあい館」の菜園からスタートし、現在は京都女子大学附属小学校の一部敷地を借りて活動しています。

今年の夏はキュウリやナス、カボチャやメロンなど12種類の野菜をつくっています。参加者にとって、土づくりからはじまり、毎日の水やりや、草引き、間引きなど、細かな世話が喜びにつながっています。

また、小学校の子どもたちと一緒に、種まきや収穫を行って交流を深めることも楽しみの一つです。

現在、11人で活動していますが、全員の気持ちが一つになるからこそ、楽しみにつながるのだと感じます。



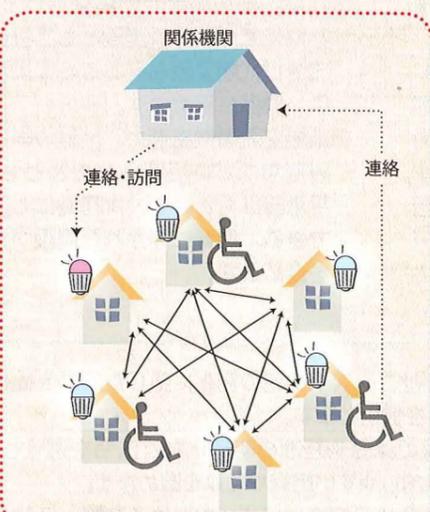
かぶの収穫



小学校の子どもたちと一緒にじゃがいも収穫

見守り活動

見守られる側も力を発揮！
LED 電球をつかった相互見守りシステム
『ひかり・通信』



『ひかり・通信』の概念図

東山区社会福祉協議会は、地域の高齢化をふまえ、京都女子大学とともに電球をつかった見守り活動をはじめます。

この取組は、まず、同一地域内の複数の家庭に2種類の色の異なるLED電球を取りつけます。そして、朝と夜のスイッチ切り替えで色を変えることにより、隣近所複数の目で相互に安否確認をしあうというものです。「ご近所さん宅で電球の色が変わっていない！」というときには、関係機関に連絡をして、確認を依頼します。

最も大きな特徴は、普段は見守られる側の立場の人、この取組では見守る側として力を発揮することができることです。また、複数で見守るため、参加への心理的負担が少なく、さらには電気代がごくわずかで長もち(年間1,000円程度、耐用年数10年)するということもあげられます。

全国にも例のない取組で、貞教社会福祉協議会の協力で行っているモデル事業と、関係機関との協議を経て、さらに展開していく予定です。

子育て支援事業

行ってみよう! 「いちご組」



「雨の日でも、暑い日でも来られる屋根のある公園みたい…」(利用者談)

「いちご組」はそのような場所です。貞教学区社会福祉協議会が運営し、今年で10年目の活動に入りました。

就学前までの親子が7~8組、多いときは20組もの方が利用されています。

このサロンを利用していただいていた子どもたちも大きくなり、隣の小学校のグラウンドから窓越しに手を振ってくれています。

参加されていたお母さんは、「公園で知りました。知り合いができたり、時間を気にせず立ち寄れるのがよいです」と話されていました。

どなたでも気軽にのぞいてください。



- 開所日時… 毎週月・水曜日の午前10時~11時30分 (お盆・年末年始は休み)
- 場 所… 元貞教幼稚園内(京阪七条駅から徒歩8分)

日常生活自立支援事業
(地域福祉権利擁護事業)

“生活支援員”募集

東山区では今、生活支援員が少し不足しているため、募集しています。

日常生活自立支援事業
(地域福祉権利擁護事業)
って何?

地域の高齢の方や障がいのある方がこれからも安心して暮らしていけるように生活の困りごとを聞いたり、光熱費などの支払いのお手伝いをしたりする仕事です。

生活支援員って何?

地域に住む人で、日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)を利用する高齢の方や障がいのある方を職員と一緒に実際にサポートする方です。



問い合わせは

社会福祉法人 京都市東山区社会福祉協議会
京都市東山区ボランティアセンター

〒605-0863 京都市東山区五条通大和路東入5丁目 梅林町576-5
やすらぎ・ふれあい館内

TEL.(075)551-4849 FAX.(075)551-4858

E-mail: fukusi07@mediawars.ne.jp
http://www.mediawars.ne.jp/fukusi07/

